

令和2年7月20日

○意見書を投函された方へ

宮崎大学学生支援部
教育支援課

意見書に対する回答について

<投書内容>

授業してほしい。Webclass あきた。

(令和2年7月13日受付)

<回答>

新型コロナウイルスは、一般的な状況における感染経路の中心は飛沫感染及び接触感染とされていますが、閉鎖空間において近距離で多くの人と会話する等の一定の環境下であれば、咳やくしゃみ等の症状がなくても感染を拡大させるリスクがあるとされています。また、発症前2日の者や無症候の者からの感染の可能性も指摘されています。一方、人と人との距離を確保することにより、大幅に感染リスクが下がるとされています。

大学における対面授業は、多くの学生が教室で密となる科目も多いことから、窓やドアを開けて換気を行ったとしても、一定程度のリスクが生じると考えています。

そのため、本学では、現時点における授業の取扱は原則として遠隔授業を継続実施しつつ、3密を解消できる指導は、感染対策を行いつつ、対面で実施することを基本としております。

宮崎大学から感染者を出さない、クラスターを発生させないためにも、本学の新型コロナウイルス対策にご理解とご協力をお願いいたします。